

# 事務事業評価シート

評価実施年度：平成29年度

上位の施策名称 施策Ⅲ-3-2  
男女共同参画の推進

## 1. 事務事業の目的・概要

事務事業担当課長

男女共同参画室長 原 圭子

電話番号

0852-22-5243

事務事業の名称	関係団体等との連携による男女共同参画推進事業		
目的	(1) 対象	関係団体等	
	(2) 意図	互いに連携することでそれぞれの取組みをより効果的なものとし、社会のあらゆる分野における男女共同参画のより一層の推進を図る。	
事業概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>男女共同参画の推進に関する施策及び重要事項を調査審議し、意見を聴取するための審議会を開催する。</li> <li>県と各団体の取組みに係る情報交換、意見交換を行い、今後の施策に生かすことを目的とした会議を開催する。</li> </ul>		

## 2. 成果参考指標

成果参考指標名等		年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	単位	
1	指標名	固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合	目標値	75	74	76	78	80	%
	式・定義	県政世論調査	取組目標値						
			実績値	72	71				
			達成率	96.0	96.0	-	-	-	%
2	指標名		目標値						
	式・定義		取組目標値						
			実績値						
			達成率	-	-	-	-	-	%

## 3. 事業費

	前年度実績	今年度計画
事業費 (b) (千円)	483	705
うち一般財源 (千円)	483	705

## 4. 改善策の実施状況

前年度の課題を踏まえた改善策の実施状況	②改善策を実施した（実施予定、一部実施含む）
---------------------	------------------------

## 5. 評価時点での現状（客観的事実・データなどに基づいた現状）

・固定的性別役割分担意識にとらわれない人の割合は71%で直近5年間の平均（70.6%）を上回っており、内閣府が平成28年度に行った全国調査による数値（54.3%）も大きく上回る水準で推移している。しかし、平成27年度の72%からは若干低下しており、目標値の74%に達していない。

## 6. 成果があったこと（改善されたこと）

・男女共同参画審議会における審議を反映させた島根県男女共同参画計画に基づく各施策の実施により、固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合は全体として増加傾向にある。  
 ・職場で学ぶライフマネジメント講座の開催回数を平成26年度から増加（H26 5回、H27 10回、H28 13回）させるなど、経済団体や企業との連携・協力により、個人や地域のみならず、企業・団体を対象とした啓発の機会を増やしている。

## 7. まだ残っている課題（現状の何をどのように変更する必要があるのか）

### ①困っている「状況」

・男女共同参画への理解は進んでいるが、高齢層を中心とした一部の人の間には依然として固定的な性別役割分担意識が残っている。  
 ・家庭において、食事のしたくやかたづけ、掃除などは依然として妻が担う仕事となっている。（平成26年度実施の「男女共同参画に関する県民の意識・実態調査」による）

### ②困っている状況が発生している「原因」

・男女とも、高齢層においては他の年代よりも固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合が低い。（県政世論調査による）  
 ・地域によって、固定的な性別役割分担意識にとらわれない人の割合に較差が見られる。（県政世論調査による）

### ③原因を解消するための「課題」

・幅広い世代に対して、また各地域における実情に応じた啓発、理解促進に取り組んでいく必要がある。  
 ・家庭、地域、職場など、今後もあらゆる分野における男女共同参画を推進していくことが必要。

## 8. 今後の方向性（課題にどのような方向性で取り組むのかの考え方）

・男女共同参画審議会における、各界、各地域からの委員の意見を施策に反映させ、効果的な事業実施に努める。  
 ・企業や団体等において男女共同参画の視点に基づいた自発的な取組みが進むよう、引き続き各会議において情報提供に努めるほか、関係団体等との協力・連携を深め、啓発講座等への積極的な参加や開催を働きかけていく。